



# 市議会だより

発行  
各務原市議会

岐阜県各務原市那加桜町1-69  
電話058-383-2001

編集  
市議会だより編集委員会

かかみがはら



青空古本市（4月2日・市民公園）

## 3月定例会

正・副議長など決まる	2	再び2件の土地購入の疑問をただす	7
平成23年度予算	3	<b>市政を問う 一般質問</b>	
委員会審査	4	自治会活動の支援	8
<b>市政を問う 会派の代表質問</b>		健康増進2次計画	9
平成23年度予算案と行財政改革	6	はやぶさ帰還カプセル特別展示	10
未来への物語を創る予算とは	6	<b>審議結果</b>	11
災害時要援護者の避難対策	7	<b>市民の声、議会素描</b>	12



監査委員 梅田利昭



副議長 関浩司



議長 浅野健司

# 議長に浅野健司氏

## 副議長に関浩司氏

## 監査委員に梅田利昭氏

去る2月28日、古田澄信議長から辞職願が提出され、選挙を行った結果、浅野健司副議長が議長に、関浩司議員が副議長に当選しました。

また、議会運営委員と常任委員の任期(1年)満了により、委員の選任と正副委員長との互選を行いました。

最終日には、吉岡健議員が議会選出の監査委員を辞任したことにより、



総務常任委員会

その後任に梅田利昭議員を選任する議案が市長から提出され、全会一致で同意しました。

### 常任委員会

市議会では4つの常任委員会を設置しており、議員は必ず一つの常任委員会に所属します。

各常任委員会は、行政組織に基づき分担して、専門的に詳しく各種案件



民生消防常任委員会

を審査します。

◎委員長、○副委員長  
**総務常任委員会**

◎川瀬勝秀、○杉山元則、永治明子、吉岡健、三和由紀、藤井国雄  
**民生消防常任委員会**

◎横山富士雄、○岡部秀夫、水野岳男、梅田利昭、古田澄信、長縄博光  
**経済教育常任委員会**

◎池戸一成、○川嶋一生、波多野こうめ、浅野健司、太田松次、中村幸二



経済教育常任委員会

**建設水道常任委員会**  
◎神谷卓男、○足立孝夫、高島貴美子、関浩司、角弘二、三丸文也

### 議会運営委員会

議会運営、議会の会期、議長との諮問に関する事などを審査します。

◎神谷卓男、○横山富士雄、吉岡健、波多野こうめ、古田澄信、藤井国雄、長縄博光



建設水道常任委員会

平成23年第2回各務原市議会定例会は、2月28日から3月25日までの26日間の会期で開催しました。初日の2月28日には、正副議長選挙と、任期(1年)満了による議会運営委員と各常任委員の選任並びに正副委員長との互選を行いました。

平成23年度  
一般会計予算

417億5千万円を可決  
「未来への物語を創る予算」を計上

第2次新総合計画を着実に推進

今期定例会に市長から提出された議案は、平成23年度の一般会計、特別会計、水道事業会計予算をはじめとする35案件で、委員会、本会議を経て、いずれも原案のとおり可決、同意しました。

また、議員から3案件が提出され、常任委員会の定数と所管事項を変更する委員会条例の一部を改正する条例2案件を原案のとおり可決し、「TPP(環太平洋経済連携協定) 参加に反対する意見書」を否決しました。

第2回定例会に市長から提出された議案は、

- ・平成23年度予算 6件
- ・平成22年度補正予算 8件
- ・人事の案件 3件
- ・条例の制定・改廃 9件
- ・工事請負契約の締結



リニューアルされる中央図書館

一般会計

予算編成方針

平成23年度当初予算は、「未来への物語を創る予算」をスローガンとし、①第2次新総合計画の着実な推進、②「本の街かみがはら」の推進、③安全・安心な都市づくり、④公共施設等の戦略的な延命化、⑤たくましい財力への更なる向上の5つ

- ・損害賠償の額の決定 1件
- ・市道路線の認定・廃止 1件
- ・指定管理者指定 6件
- ・の合計35案件です。 1件

の方針に基づき、予算を編成しています。

一般会計の予算規模は対前年度当初比2.6%減の417億5千万円を計上しています。

なお、平成22年度への事業の前倒し分と東海中央病院改築助成金の減を考慮すると、平成23年度の実質的な予算規模は平成22年度とほぼ同額となります。

一般会計の歳入の状況

市税は、経済動向や税制改正の動きなどを考慮し、対前年度当初比0.1%増の196億7574万6千円を計上しています。

23年度の主な事業

「本の街かみがはら」推進事業

春と秋の2回のブックフェスティバルをはじめとする本に関連した事業を実施し、様々な学びと触れ合いの場を提供する。

中央図書館リニューアル事業

エントランス、ラウンジ、視聴覚ホールなどの改修や備品の更新を行い、文化・芸術の発信拠点としての機能向上を図る。

体育施設基本構想調査事業

公式競技を可能とする新たな総合スポーツ施設

国庫支出金は、子ども手当の3歳未満児に対する上積みなどにより、対前年度当初比8.8%増の66億7453万6千円を、県支出金は、子宮頸がん等ワクチン接種促進事業の実施などにより、対前年度当初比14.3%増の25億6327万9千円を計上しています。

市債は、将来の公債費

のあり方を検討するため調査を実施する。

高機能消防指令センター整備事業

災害や救急の救護活動を迅速かつ的確に実行するために、高機能消防指令システムを導入する。(平成23年度設計、平成24年度～25年度工事)

発達障がいの子のための支援プログラム事業

専門家の指導に沿って、発達障がいなどを持つ子どもたちが集団活動を実施する。

この活動を通じて、教職員が適切な指導を身に付ける。

負担、プライマリーバランスなどを考慮し、元利償還金が地方交付税で措置される有利かつ良質な地方債を厳選したことなどにより、対前年度当初比42.4%減の29億3040万円を計上しています。

議員の辞職

尾関光政氏 2月7日辞職  
今尾泰造氏 3月31日辞職

# 委員会審査



## 総務常任委員会

(仮称) 那加小網線左岸  
アプローチ橋上部工工事  
請負契約の締結

▼質疑 応札した業者数  
と落札率は。

▽答 3つの共同企業体  
から応札があり、落札率  
は97・33%である。

平成23年度一般会計予算  
(所管分)

▼質疑 職員研修費の主  
だったものは何か。

▽答 都市戦略の一つに  
「人づくり都市」を大きく  
展開しており、新たに次  
世代リーダー研修などの  
特色ある研修を取り入れる。  
▼質疑 正規職員が減っ  
ていく中で、今後どのよ

今期定例会で、常任委員会に審査の付託をし  
た案件について、去る3月16日から4日間で、  
常任委員会を開催し、審査を行いました。  
各常任委員会の主な質疑は次のとおりです。

うに対応していくのか。

▽答 臨時職員や嘱託職  
員を増やし、アウトソー  
シングも推進していく。



受付窓口(市民課)

▼質疑 消費者相談の対  
応はどうしているのか。

▽答 消費者相談は、平  
成22年度に週3回から4  
回に増やした。

また、国民生活セン  
ターとネットワークを結  
び、情報のやりとりを考

えている。

▼質疑 防災ひとづくり  
講座を行う理由は。

▽答 災害時に最も重要  
なことは、住民による自  
主防災活動である。

地域の住民が、より自  
主的、継続的に地域の防  
災活動に取り組むことが  
できるように地域の防災  
リーダーを育成し、地域  
の防災力、共助の向上を  
図るものである。

▼質疑 防災ひとづくり  
講座の具体的な内容は。

▽答 平成23年度は50名  
の防災リーダー育成を計  
画している。

防災の基礎知識に関す  
る研修や、実践的な図上  
訓練、家具転倒防止作業  
や炊き出し、消火訓練、  
AEDなどを使った救命

救急講習など延べ6日間  
ほどの講習を行う。

## 民生消防 常任委員会

平成23年度一般会計予算  
(所管分)

▼質疑 浄化槽設備補助  
事業の内容は。

▽答 7年以内に下水道  
設備が見込まれない地域  
や下水道の区域外の地域  
を対象に、台所や風呂の  
排水、し尿を処理する合  
併処理浄化槽を設置する  
場合に補助するもので、  
国、県、市で3分の1ず  
つ負担している。

▼質疑 火葬炉を1炉増  
設する利点は。

▽答 現在5炉で1日最  
高10件の火葬を行っている  
が、増設により1日最高  
12件の火葬が可能となる。  
また、受入時間も拡大  
し、午前10時からとする。

なお、炉はローテーシ  
ョンで使用するため、1  
炉当たりの使用回数が減  
り、その損傷の軽減にも  
つながる。



炉が増設される市営斎場設備

▼質疑 まちピカ応援隊  
事業の内容は。

▽答 自治会、事業所な  
どでグループを作り、道  
路の歩道部分や駅前など  
の公共の場所の清掃活動  
をボランティアで行うも  
のである。

平成23年度後期高齢者医  
療事業特別会計予算

▼質疑 県後期高齢者医  
療広域連合の状況は。

▽答 後期高齢者の方が  
増えており、事業規模は  
大きくなってきている。  
おおむね2年単位で保  
険料の見直しを行っている  
が、平成23年度は据え  
置きになっており、不足  
分は繰越金や基金で対応  
する予算が組まれている。

**経済教育  
常任委員会**

**埋蔵文化財調査センター  
設置条例の一部改正**

▼質疑 中央図書館から水道庁舎へ移転する改正だが、展示物を多くの方が見られるよう、交通の便のいい現在の場所の方がよいのではないか。

▼答 現在の埋蔵文化財調査センターは、中央図書館の1階と3階に分かれているが、移転後は水道庁舎の1階のワンフロアで常設展示できる。

今後は図書館のスペースを利用した企画展も行っていく。

**平成23年度一般会計予算  
(所管分)**

▼質疑 有害鳥獣駆除に関する最近の状況は。

▼答 市内東部や北部でイノシシの被害が発生しており、猟友会に捕獲を依頼している。

捕獲件数は、平成20年度が3頭、平成21年度が22頭、平成22年度が34頭

である。  
現在、東部や北部の7カ所で11基の檻を仕掛け、猟友会が週2回巡回している。

▼質疑 吹奏楽アカデミー事業の効果は。

▼答 事業がスタートした平成20年度の全日本吹奏楽コンクールの県大会出場は、市内中学校8校中4校であったが、平成21年度は6校に増え、那加中が県下67校の頂点となる県知事賞を受賞、3校が金賞を受賞した。

また、アンサンブルコンテスト東海大会では、県代表6チーム中2チームが市内中学校のチームで、このいずれのチーム



吹奏楽アカデミー練習風景

とも銀賞を受賞した。

▼質疑 本の街かかみからは推進事業で、小中学生を対象とした事業は何か。

▼答 ブックトーク活動、学校読み聞かせ、全校一斉読書、読書感想文コンクールのほか、小中学生が読まなくなった本を寄贈してもらい、森の交流館や子ども館で受け継いでいくブックバトンタッチを行う。

▼質疑 これらの事業で、小中学生にどのような効果を期待しているのか。

▼答 子どもたちは、本を読むことでたくさんメッセージを受けて感性を高めることができる。

また、今まで以上に本に触れて、本を読むことが好きになれば、その子の生涯に貴重な財産になる。

**建設水道  
常任委員会**

**平成23年度一般会計予算  
(所管分)**

▼質疑 道路維持補修の要望をどのように対応し

ているか。

▼答 緊急性、必要性に応じて判断し対応しており、平成22年度は、636件の自治会要望のうち、437件で67・1%を対応した。



改修予定の清水橋 (大佐野町)

▼質疑 橋梁長寿命化事業の詳細は。

▼答 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋長が15m以上の40橋のうち22橋を平成23年度から10年間でかけて修繕、補強をする。従来はそれぞれの橋で

損傷や異変があったとき、事後的に対応していたが、計画的に修繕を行うことにより最小のコストで延命化を図るものである。

▼質疑 公園施設長寿命

化計画策定事業の詳細は。

▼答 平成23年度から3年間かけて、選定した58カ所の公園の長寿命化計画を策定し、平成25年度から順次修繕を行っていく。きめ細かに点検や修繕を行い、建物や施設を長持ちさせることを目的としている。

▼質疑 ブロック塀の撤去に対する補助の内容は。

▼答 撤去後、緑化を行う場合は、取り壊しと緑化に対し、それぞれの費用の2分の1、各10万円を限度に補助するもので、最大20万円を助成する。

平成23年度からは、ブロック塀の撤去のみでも、費用の2分の1、最大5万円を補助する。

**平成23年度水道事業会計  
予算**

▼質疑 新三井配水池の規模は。

▼答 縦約20m、横約30m、高さ約9mの直方体の構造物で容量4400m<sup>3</sup>である。景観に配慮し、土で覆い、見えない状態になる。

ました。質問をした議員は次のとおりです。

横山富士雄(市議会公明党)、今尾泰造(日本共産党市議団)

して質問するもので、各会派で作成された原稿を掲載しています。



# 平成23年度予算案と

## 行財政改革について

和政クラブ

▼問 平成23年度予算案をどのような想いで策定したのか。全体像、特徴、意気込みを。

▼答 我が国の経済は厳しい状況が続くものと見込まれるが、本市は、日本が本来持っている潜在力に着目し、「独立都市自治体」として、これまで培ってきた財政力を背景に自らの力でたくましく歩んでいく。

ポイントは5点。①「各務原市第2次新総合計画」を着実に推進。②新たな都市づくりの物語「本の街かかみがはら」を推進。③安全・安心な都市づくりを推進。④公共施設等の戦略的な延命化。⑤たくましい財政力を更に高め定した。

▼問 シビルミニマムについて、より一層の市民理解を得る方策は。

▼答 市民福祉の底上げを図るため、社会保障制度、子ども福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、保健・医療の5つの分野ごとに施策群を策定した。

平成23年度は新規・拡大事業も含めた171件の事業を実施し、「人にやさしい都市」の実現を図る。

▼問 体育施設基本構想調査事業の内容と調査結果の取りまとめはいつか。

▼答 将来のスポーツ需要、広域での役割を踏まえ、必要とされる施設、財源など、基本的事項を調査する。結果は平成23年度中に示す。



総合体育館

▼問 第2次新行財政改革大綱の初年度、平成22年度の成果は。

▼答 第1次は平成21年度までに54項目、88億2837万円の節減を達成した。

第2次は41項目を実施することとしており、初年度の平成22年では、ごみ処理手数料の見直しなど5項目を終了しており、職員の定数管理など継続的に行う16項目を合わせると5年間の全体計画に対する実施率は51%となる。

# 未来への物語を創る予算とは

主民クラブ

▼問 豊かな表現力を身につけるためにも読書は有効である。人づくりの観点から、新たな物語「本の街かかみがはら」の目指すものは。

▼答 本は「知恵の宝庫」である。読書によって「夢と志」をはぐくみ、「憩いと潤い」を持つことができる。また、日本人の「知力」と「勤勉さ」という潜在力は、読書によるところが大きい。

平成23年度からは「本の街かかみがはら」をスタートし、ハード事業で2事業、ソフト事業で44事業を展開し、本を通じて人と人との

と人との触れ合いを深め、市民の豊かな心をはぐくみ、知識と文化のあふれる都市づくりをダイナミックに進



建設予定の森の交流館(うぬまの森)

める。

▼問 これまでの緊急雇用創出事業の成果は。

▼答 平成22年度までの3年間で、316人の雇用を創出する事業を行い、そのうち失業者を235人雇用した。

▼問 平成23年度はどのような事業で雇用創出を行うのか。また、事業選択はどのようなしているのか。

▼答 外来種「ジャンボタニシ」の駆除など、合計16事業を実施する予定である。

これにより1000人の雇用を創出し、そのうち失業者については78人を見込んでいます。

離職を余儀なくされた失業者に対する「つなぎ雇用」を創出する事業であり、より多くの方々に雇用・就業の機会を提供するために、専門的な知識などを必要としない事業であるとともに、事業費に占める新規雇用の人件費割合が50%以上確保される事業であることなどの基準を設け事業選択を行っている。

# 市政を問う 会派の代表質問

3月14日に各会派の代表質問を行いました

神谷卓男(政和クラブ)、水野岳男(民主クラブ)、

※代表質問は、各会派の政策・主張に基づき市政に関し

## 災害時要援護者の避難対策

市議会  
公明党

▼問 災害時要援護者の避難対策は。

▼答 民生委員・児童委員協議会活動の重点項目の一つとして「災害時一人も見逃さない運動」の推進を掲げており、市内8地区すべてで、災害時要援護者に対する避難支援体制の確立、避難訓練の実施を目指していく。

▼問 「独立都市自治体」の目指す都市とは。

▼答 第2次新総合計画では、人口減少時代に平成32年の人口を15万人と設定し、65歳から74歳を準生産年齢人口として再定義しており、活力ある都市づくりを支える担い手として期待している。

▼問 平成23年度予算案の政策的意図に関して、他市の減

税の動きに対する考えは。

▼答 他市に先駆けて行財政構造改革を積極的に取り組んできた。

急速な少子高齢化社会が展開する中、行政需要はさらに増大するが、未来に「つけ」を残さないことが行政の責務である。

▼問 国の税制改正が本市の財政に与える影響は。

▼答 平成24年度から16歳未満の扶養親族に係る扶養控除を廃止するとともに、16歳以上19歳未満の特定扶養親族に係る扶養控除の上乗せ部分を廃止するとしており、本市は、約4億6千万円の個人市民税の増収を見込んでいる。

▼問 子ども手当の財源構成は。

▼答 全額国費として予算計上している地方公共団体もあるが、本市は法案に基づき計上した。

## 再び2件の土地購入の疑問をただす

日本共産党  
市議会

▼問 市是那加雲雀町の民有地を道路拡幅を目的に購入。この土地の地権者は借金が返済できず競売直前の切羽詰った状況であり、しかも松岡副市長の親族であった。

▼答 当時、私は都市戦略部次長だったが、この件に関して親族とか身内とか考慮するものでない。

▼問 この土地は、駐車場にするという説明だが利用目的は後付けされたもので、「道路改良事業」という目的で購入。これは、目的外利用であり道路法に違反するものだ。

▼答 この周辺は公共施設も多く、駐車場に利用することとは当初からの目的である。

▼問 この問題は市民から批判の声が上がっている。副市長の責任は重大であり辞任を求め。また副市長を登用した市長はどう責任を取るのか。

▼答 土地取得の手法は適法に処理したもので何ら責任問題は生じない。

▼問 天狗谷の土地取得について、自動車解体業者から購入したこの土地の土壌汚染などの処理は誰がしたのか。

▼答 鑑定評価をした時点で、地権者の責任で埋設物の竹の処理と土壌汚染がないことを確認しているからである。

▼問 前回の議会でも質問を重ねたが、土地購入の目的が2件だと市は主張しているが、租税特別措置法の税額免除のための税務署への提出書類では「屋外運動場整備事業」としており、市自身が目的を1件と認めたものだ。

▼答 土地の取得目的は「福祉の里屋外運動場整備事業」及び「緑地整備事業」として取得したものである。

# 市政を問う 一般質問

3月14日、15日の2日間、一般質問を行いました。  
質問をした議員は次のとおりです。(発言順)

高島貴美子、杉山元則、岡部秀夫、梅田利昭、永治明子、  
三和由紀、太田松次、池戸一成、波多野こうめ

## 自治会加入率82・3%と減少

### 自治会活動への支援は

▼問 自治会加入率が低下傾向にあるが、現状はどうなっているか。

▼答 住民意識の多様化に伴い、自治会加入率は減少しているが、平成22年4月現在で82・3%となっており、近隣市と比較しても高水準を維持している。

▼問 自治会が抱える問題に対する認識は。

▼答 役員選出に苦慮されている自治会があることは認識しているが、その解決策として独自のルールなどで工夫している自治会もあり、そのような情報の収集と提供に努める。

▼問 現在、自治会の用具購入に対して、3年に1回助成を行っているが、今後の支援は。

▼答 自主的に地域活動に取り組む自治会に対して、活動に必要な用具の購入補助をしているが、さらに活用しやすいように毎年申請ができるようにして、受付期間も延長



市民清掃活動(新境川上流)

していく。

## 「動く広告塔」 ナンバープレート

▼問 原動機付自転車や小型特殊自動車の登録台数と年間新規登録台数の状況は。

▼答 平成22年度当初の原動機付自転車の登録台数は5692台、年間新規登録台数は895台であり、小型特殊自動車の登録台数は1591台、新規登録台数は117台である。

▼問 125cc以下のバイクなどのナンバープレートは、市町村独自のデザインで「ご当地ナン

バープレート」が制定できるが、「動く広告塔」として導入してはどうか。

▼答 全国的な統一が望ましいとの観点から、総務省通達で標準的な形式が示されているが、近年「ご当地ナンバープレート」が広がっている。

デザインを工夫することで、市の知名度の向上が期待できることから、導入を検討していく。

## 老朽化する 公共施設の 延命化

▼問 公共施設の損傷、劣化などを将来にわたり把握し、費用対効果の高い維持管理を行うアセット・マネジメントをどう考えるか。

▼答 これまでの応急的な維持補修ではなく、戦略的な公共施設等の延命化を平成23年度予算の柱の一つとしている。  
アセット・マネジメント



リニューアルされる市民公園トイレ

## 犯罪被害者 支援

トの考え方を踏まえ、耐用年数、維持更新の経費を検討し、実施計画に反映させ、議会と情報共有を図っていく。

▼問 犯罪被害に遭った市民への支援体制づくりはどうなっているのか。

▼答 市民の身近な相談窓口である市民活動推進課で、平成23年度から各務原警察署と連携して「犯罪被害者相談」を実施する。

# 健康増進2次計画を策定

## こころの健康、食育などを追加



健康情報ルーム（東海中央病院）

▼問 平成17年度に市民参加型の健康増進計画として、生活習慣病などを抑制するための「かかみがはら元気プラン21」を策定し、各種事業を展開してきた。

▼答 平成23年度を初年度とする2次計画策定に当たって、市民の健康状態や今後の課題をどう見ているのか。

▼答 現状は、がん、心疾患、脳血管疾患の三大生活習慣病が死亡原因の約6割を占めており、脳

血管疾患による死亡は年々減少傾向にあるが、心疾患やがんによる死亡は高くなっている。

▼問 今後、生活習慣病はさらに増加することが予測され、予防対策を強化する必要はあるか。

▼答 2次計画の特徴及び基本方針は。

▼答 計画は、平成27年度までの5か年計画であり、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防、こころの健康づくり、食育の推進の3項目を新たに加え、平成22年末までに策定する。

具体的には、健康増進パワーアップ事業パート2として、健康いきいきセミナー、健康・医療・福祉が連携した東海中央病院「健康情報ルーム」での相談、地域健康相談、歯周疾患検診の対象者の拡大の4事業を新たに展開する。

## 高機能消防指令センター



更新予定の消防指令設備

▼問 新しく導入する高機能消防指令設備には、どのような機能が必要だと考えているか。

▼答 発信地表示システム、GPS機能による出動車両運用管理システム、同時災害対応機能、聴覚障がいメール・ファクス対応機能などを計画しており、さらに研究、検討を進める。

▼問 新しい高機能消防

指令設備の導入は、市民にどのような利点があるか。

▼答 119番の受信から消防車、救急車などの出動までの時間が大幅に短縮され、現場により早く到着できるため、火災被害の軽減、けが人などへの素早い応急処置などが可能となる。

## 買い物弱者対策

▼問 少子高齢化が進む中、本市でも移動手段のない高齢者などの買い物弱者が増えているが、その対策は。

▼答 介護保険認定者を対象とするホームヘルプサービスや、介護保険制度外で生活援助活動員派遣事業を実施している。NPO法人などの福祉有償運送サービス、家事援助といった助け合いサービスも積極的に推進し

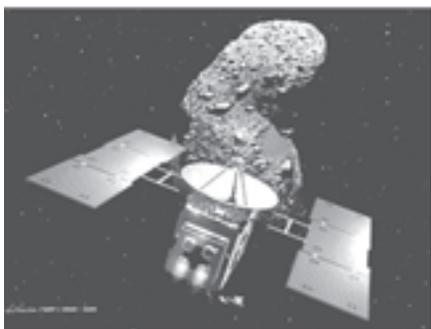
## 区画整理事業と景観

ている。  
なお、平成23年度に策定予定の第5期高齢者総合プランの基礎資料として実施した市民アンケートを集計しており、今後、その結果をプランに取り入れていく。

▼問 鵜沼東部区画整理事業を進める中で、その区域内や周辺の景観に対する取り組みは。

▼答 鵜沼山崎町、南町で行われている鵜沼駅東部土地区画整理事業の地区は、すでに景観の基準が定められており、その基準に合致するように指導をしている。  
鵜沼宝積寺町で行われている鵜沼駅東部第二土地区画整理事業の地区は、今後、関係地権者の合意形成を図り、景観基準を定めていく。

# はやぶさ帰還カプセルを特別展示 小中学生の入館無料、開館時間を延長



小惑星探査機はやぶさ (イメージ)

▼問 小惑星探査機はやぶさ帰還カプセルの特別展示の具体的な内容は。

▼答 4月29日から5月1日の3日間、航空宇宙科学博物館で県下初の特別展示を行う。

子どもたちにとって夢とロマンをはぐくむ絶好の機会であり、期間中は、小中学生の入館料を無料とし、高校生以上は一律500円とする。

また、多数の見学者が訪れることを想定し、開館時間を延長するなど、万全の体制で臨む。

期間中は、各務原キムチをはじめ、推奨特産品の販売や街角コンサートを開催するなど、シティセールスも積極的に展開する。



▼問 小中学校に在籍する発達障がいの子ども、あるいはその傾向を持つ子どもの数は。

▼答 全児童・生徒のうち約6%がその傾向を持っており、4年前と比較すると、およそ1.5倍に増えている。

▼問 発達障がいの子どものための支援プログラム事業の内容は。

▼答 久留米大学の山下裕史朗准教授を招き、夏休みに学校で注意欠陥・

多動性障がいの子どもを対象に、数日間のサマースクールを行うことで、障がいの様相が改善されると予測している。

また、教職員にとつては、課題の立て方や支援の方法、評価の仕方について実践を通して学ぶ機会になる。

▼問 教科書をデジタル化したマルチメディアデイズ教科書は、発達障がいの子どもの学習理解向上に効果が期待されるが、導入してはどうか。

▼答 平成23年度に通級指導教室で、読むことに関して障がいのある子どもにデイズ教科書の活用を試行する。

今後、その効果を検証し、導入を検討していく。



▼問 三井水源地から大伊木配水池への送水管が

地震などで破損した場合に備え、耐震管への取り換えやパイパス工事などの対策をすべきでは。

▼答 川崎山配水池と大伊木配水池の配水区は、配水管で接続されているため、仮に三井水源地から大伊木配水池への送水管が使用できなくても、川崎山配水池から鶴沼地区全体への配水は可能である。

また、配水池への送水管は、大半が耐震適合地盤に布設されており、耐震性能を有している。

▼問 水道料金体系は3段階に区分されており、使用するほど単価が高くなるが、変更すべきでは。

▼答 水道料金は、口径別の基本料金と水量料金から計算されており、使用水量が多いほど、料金が高くなる逓増制を採用している。

これは、生活に必要な水量の単価は低く抑え、大口の利用者には、施設整備が増えることから応分の負担を求めるものである。

また、水の無駄遣いを抑制する効果も期待できることから、環境にも配慮したものである。



川崎山配水池 (蘇原興亜町)

全国的には、この料金体系を採用している事業体が増えつつある。

▼問 命の水マスターランの進行状況は。

▼答 命の水マスターランは、平成20年度から26年度にかけて実施しており、おおむね計画通り進んでいる。

メイン事業の新三井配水池建設事業は、平成23年度に配水池築造・設備工事を発注し、平成24年度末には使用開始の予定である。

## 審議結果（1月臨時会）

- 22年度一般会計補正予算(第5号)…………… 原案可決・全会一致

## 審議結果（3月定例会）

- 23年度一般会計予算…………… 原案可決・賛成多数  
 ○23年度国民健康保険事業特別会計予算…………… 原案可決・全会一致  
 ○23年度介護保険事業特別会計予算…………… 原案可決・全会一致  
 ○23年度後期高齢者医療事業特別会計予算…………… 原案可決・賛成多数  
 ○23年度下水道事業特別会計予算…………… 原案可決・全会一致  
 ○23年度水道事業会計予算…………… 原案可決・全会一致  
 ○22年度一般会計補正予算(第6号)…………… 原案可決・全会一致  
 ○議会委員会条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・全会一致  
 ○22年度一般会計補正予算(第7号)…………… 原案可決・全会一致  
 ○22年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)…………… 原案可決・全会一致  
 ○22年度老人保健特別会計補正予算(第2号)…………… 原案可決・全会一致  
 ○22年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)…………… 原案可決・全会一致  
 ○22年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)…………… 原案可決・全会一致  
 ○22年度下水道事業特別会計補正予算(第4号)…………… 原案可決・全会一致  
 ○22年度水道事業会計補正予算(第2号)…………… 原案可決・全会一致  
 ○手数料条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・全会一致  
 ○職員定数条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・賛成多数  
 ○非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の  
 一部を改正する条例…………… 原案可決・全会一致  
 ○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・賛成多数  
 ○健やか手当金支給条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・全会一致  
 ○埋蔵文化財調査センター設置条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・賛成多数  
 ○集会場設置条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・全会一致  
 ○地区計画区域内における建築物等の制限に関する条例…………… 原案可決・全会一致  
 ○工事請負契約の締結（(仮称)那加小網線左岸アプローチ  
 橋上部工工事)…………… 原案同意・全会一致  
 ○損害賠償の額を定めること…………… 原案可決・全会一致  
 ○市道路線の認定(市道那1116号線)…………… 原案可決・全会一致  
 ○市道路線の認定(市道川1387号線)…………… 原案可決・全会一致  
 ○市道路線の廃止及び認定(市道稲670号線ほか2路線)…………… 原案可決・全会一致  
 ○市道路線の廃止及び認定(市道鶉745号線)…………… 原案可決・全会一致  
 ○市道路線の廃止及び認定(市道各257号線)…………… 原案可決・全会一致  
 ○市道路線の廃止及び認定(市道蘇南53号線)…………… 原案可決・全会一致  
 ○公平委員会委員の選任(猿渡要司氏)…………… 原案同意・全会一致  
 ○人権擁護委員候補者の推薦(梶原上氏)…………… 原案同意・全会一致  
 ○監査委員の選任(梅田利昭氏)…………… 原案同意・全会一致  
 ○国民健康保険条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・賛成多数  
 ○公の施設の指定管理者の指定(鶉沼西町交流館)…………… 原案可決・全会一致  
 ○議会委員会条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・全会一致  
 ○TPP(環太平洋経済連携協定)参加に反対する意見書…………… 原案否決・賛成少数  
 ○議員の辞職(今尾泰造氏)…………… 許 可  
 ○消費税の増税に反対し、食料品をはじめ暮らしにかかる  
 消費税の減税に関する請願…………… 不採択・賛成少数  
 ○エアコンの設備を充実させ子ども達の学習環境を整える  
 ことを求める請願…………… 不採択・賛成少数

### 『移動弱者の外出支援』

私は、権現山の火事騒動のあった平成14年4月に40年住んでいた神戸市から当市に移転し、間もなく丸9年になるところです。

「空気と水がととても美味しいところ」というのが移ってすぐの感想で、移転挨拶状にはそう書いて、知人に連絡しました。

一年近く住んでみて、大都会とは違い、駐車場と道路が極めてゆったりした「自動車の使い勝手の素晴らしく良い所」だと気付きました。ですから皆さん、何処へ行くにも自動車です。

神戸では、公共交通網が発達していて、70歳を過ぎると、市バスは無料優待があり、10分も待たばすぐ次が来て、便利でしたが、停留所までは神戸独特の坂道を歩かねばなりません。その点、自動車は、家から目的地まで、多少足

が弱っても運転できれば、どこへでも出向けて便利ですから、当市では90歳近い（あるいは超過？）高齢運転者もかなりおられるようです。でも、いざれ運転できなくなる



蘇原沢上町 小川光生さん

早バスも、そう頻繁には運行していませんし、タクシーは懐具合を考えるとそう頻繁には使えない、いきおい出不精になって「認知症予備軍の増加」ということになりかねません。「ここには、手軽な運送サービスをやっているNPOがありそうだ」と思い、市役所に聞いてみました。すると、既に「わ

### 市議会を傍聴しましょう

次の定例会は、6月6日に開会予定です

午前9時30分から市役所6階で受付しています。

詳しくは議会事務局総務課まで

たぼうし」というNPO団体が活動していて、それを紹介くださいましたので、早速入会して、当時に70歳を超していましたが、サービス提供者の一人として「歩行者」の方を乗せて随分市内を走り回りました。その後、全国的に、たとえ善意でもこのような「白タク」を野放しにすると、タクシー事業に影響するという問題が出て、5年前から、国土交通省関連の新しい法律で規定された活動のみが認められることになりました。本市のような車利用の好環境下で、歩行弱者の方にどう対応していくかは、この地に住む者に課せられた課題の一つではないでしょうか。

### 東日本大震災犠牲者に対し黙とう

3月14日、本会議に先だち、犠牲となられた方々に哀悼の意を表し、黙とうを行いました。

また、各務原市議会では、震災被害に対する支援として、義援金50万円を贈りました。

一日も早く被災地が復旧・復興できますよう心よりお祈り申し上げます。

### 議会素描

▼新しい東海中央病院が3月25日に開業。地域医療の拡充に期待。

▼「音楽の街」に続き「本の街」がスタート。日本人の潜在力を引き出す物語に期待する。

▼2名の議員が辞職し、24名になった各務原市議会議員。数が減ってもマッパワーを発揮して市民の声を聞くアンテナを伸ばしたい。

▼日本を震わせた中での今議会。対岸の火事ではありません。がんばれ日本。



### 市議会だより編集委員会

- 委員長 杉山元則
- 副委員長 川嶋一生
- 委員 水野岳男
- 委員 池戸一成
- 委員 高島貴美子
- 委員 足立孝夫



環境保護のため植物インキを使用しています。